

別添資料1 履修モデル（博士前期課程）
（臨床心理学コース）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			履修年次			
			必修	選択	自由	1年次		2年次	
						前期	後期	前期	後期
共通基礎科目	健康科学特論Ⅰ	1前	2			2			
	健康科学特論Ⅱ	1後	2				2		
	研究倫理学特論	1前	2			2			
	健康科学研究法特論Ⅰ	1前		2					
	健康科学研究法特論Ⅱ	1後		2					
	心理統計学特論	1・2前		2					
	脳科学特論	1・2前		2					
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1・2前		2					
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2					
	救急医学特論	1・2前		2					
	精神薬理学特論	1・2前		2					
	生活支援学特論	1・2前		2				2	
	運動機能学特論	1・2前		2					
	発達障害特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2					
	小計(14科目)	—	6	22	0	6		2	
専門領域科目	理学療法学領域	a群	生活機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2			
			生活機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2			
		b群	運動器障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2			
			運動器障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2			
		c群	脳機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2			
			脳機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2			
	小計(6科目)	—	0	12	0	0		0	
	心理学領域	a群	発達心理学特論	1前		2	2		
			認知心理学特論	1後		2			
			学習・行動分析学特論	1後		2			
		b群	組織心理学特論	1前		2			
			社会心理学特論	1後		2			
			社会調査特別演習	1後		2			
			司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1後		2		2	
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)			1前		2				
小計(8科目)	—	0	16	0	4		0		

専門領域科目	救急救命学領域	救急救護学特論	1前	2				
		救急救護学特論演習	1後	2				
		災害・防災学特論	1後	2				
		救急救命システム特論	1後	2				
		小計（4科目）	—	0	8	0	0	0
	臨床心理士特修領域	a群	臨床心理学特論	1通	4		4	
			臨床心理学面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2		2	
			臨床心理学面接特論Ⅱ	1後	2			2
			臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前	2		2	
			臨床心理査定演習Ⅱ	1前	2		2	
			臨床心理基礎実習	1通	2		2	
			心理実践実習Ⅰ	1通	4			
			臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ）	2通	6			6
			臨床心理実習B	2通	1			1
		b群	分析心理学特論	1後	2			
			思春期臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後	2			2
			グループアプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1後	2			
		小計（12科目）	—	0	31	0	16	7
	研究演習	健康科学特別研究Ⅰ	1通	2		2		
		健康科学特別研究Ⅱ	2通	6			6	
小計（2科目）		—	8	0	0	2	6	
合計						28	15	

単位数合計	43
-------	----

(心理学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			履修年次				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		
						前期	後期	前期	後期	
共通基礎科目	健康科学特論Ⅰ	1前	2			2				
	健康科学特論Ⅱ	1後	2				2			
	研究倫理学特論	1前	2			2				
	健康科学研究法特論Ⅰ	1前		2						
	健康科学研究法特論Ⅱ	1後		2						
	心理統計学特論	1・2前		2		2				
	脳科学特論	1・2前		2				2		
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1・2前		2						
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2						
	救急医学特論	1・2前		2						
	精神薬理学特論	1・2前		2						
	生活支援学特論	1・2前		2				2		
	運動機能学特論	1・2前		2				2		
	発達障害特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2						
	小計(14科目)		—	6	22	0	8		6	
専門領域科目	理学療法学領域	a群	生活機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2				
			生活機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2				
		b群	運動器障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2				
			運動器障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2				
		c群	脳機能障害理学療法学特論Ⅰ	1後		2				
			脳機能障害理学療法学特論Ⅱ	1後		2				
	小計(6科目)		—	0	12	0	0		0	
	心理学領域	a群	発達心理学特論	1前		2		2		
			認知心理学特論	1後		2			2	
			学習・行動分析学特論	1後		2			2	
		b群	組織心理学特論	1前		2				
			社会心理学特論	1後		2			2	
			社会調査特別演習	1後		2				
			司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1後		2				
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)			1前		2					
小計(8科目)		—	0	16	0	8		0		

専門領域科目	救急救命学領域	救急救護学特論	1前	2					
		救急救護学特論演習	1後	2					
		災害・防災学特論	1後	2					
		救急救命システム特論	1後	2					
		小計（4科目）	—	0	8	0	0	0	
	臨床心理士特修領域	a群	臨床心理学特論	1通	4				
			臨床心理学面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2				
			臨床心理学面接特論Ⅱ	1後	2				
			臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前	2				
			臨床心理査定演習Ⅱ	1前	2				
			臨床心理基礎実習	1通	2				
			心理実践実習Ⅰ	1通	4				
			臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ）	2通	6				
		臨床心理実習B	2通	1					
		b群	分析心理学特論	1後	2				
			思春期臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後	2				
			グループアプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1後	2				
			小計（12科目）	—	0	31	0	0	0
	研究演習	健康科学特別研究Ⅰ	1通	2			2		
健康科学特別研究Ⅱ		2通	6				6		
小計（2科目）		—	8	0	0	2	6		
合計						18	12		

単位数合計	30
-------	----

別添資料2 全国における救急救命学系大学院・学科の設置状況

救急救命学関連大学院(修士課程・博士前期課程)設置状況(全国)

No.	所在地	大学院名	研究科名	専攻名	コース・分野・領域等	入学定員
1	栃木県	帝京大学大学院	医療技術学研究科	救急救護学専攻		5
2	東京都	杏林大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	救急救命学分野	7
3	東京都	国土館大学大学院	救急システム研究科	救急システム専攻		10
4	東京都	帝京平成大学大学院	健康科学研究科	病院前救急医療学専攻		3
5	神奈川県	日本体育大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	救急災害医療学コース	8
6	愛知県	中部大学大学院	生命健康科学研究科	保健医療学専攻	救急医療学・健康増進学	6

出典：各大学HPより

救急救命学系学科の設置状況(全国)

No.	所在地	大学名	学部名	学科名	コース等名	入学定員
1	宮城県	東北福祉大学	総合福祉学部	福祉行政学科	副専攻 救急救命士課程	20
			総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科		
				情報福祉マネジメント学科		
			健康科学部	医療経営管理学科		
2	栃木県	帝京大学	医療技術学部	スポーツ医療学科	救急救命士コース	*390
3	群馬県	上武大学	ビジネス情報学部	スポーツ健康マネジメント学科	救急救命士コース	*410
4	千葉県	千葉科学大学	危機管理学部	保健医療学科	救急救命学コース	*80
5	千葉県	帝京平成大学	健康医療スポーツ学部	医療スポーツ学科	救急救命士コース	*190
6	東京都	杏林大学	保健学部	救急救命学科		50
7	東京都	国土館大学	体育学部	スポーツ医科学科		150
8	東京都	帝京平成大学	健康メディカル学部	医療科学科	救急救命士コース	*180
9	神奈川県	日本体育大学	保健医療学部	救急医療学科		80
10	新潟県	新潟医療福祉大学	医療技術学部	救急救命学科		55
11	岐阜県	東海学院大学	人間関係学部	心理学科		*110
12	愛知県	中部大学	生命健康科学部	スポーツ保健医療学科		*80
13	京都府	京都橘大学	健康科学部	救急救命学科		50
14	京都府	明治国際医療大学	保健医療学部	救急救命学科		50
15	岡山県	倉敷芸術科学大学	生命科学部	健康科学科	救急救命士コース	*80
16	広島県	広島国際大学	保健医療学部	医療技術学科	救急救命学専攻	40
17	山口県	東亜大学	医療学部	医療工学科	救急救命コース	*70
18	福岡県	帝京大学	福岡医療技術学部	医療技術学科	救急救命士コース	*80

※一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会(JESA)の情報をもとに、各大学ホームページ情報も加えて作成

※入学定員に付した*印はコース・専攻ではなく、学科全体の入学定員を示す。

また、東北福祉大学は課程の定員を示す

別添資料3 「わかあゆ呼吸ケア勉強会」実績

年度	実施日	研修内容	参加人数
2012	9月20日	呼吸ケア・リハビリに関わる解剖学、生理学と呼吸機能・動脈血ガス検査	138名
	10月11日	急性期呼吸リハビリテーションの評価と実際	107名
	11月15日	慢性期呼吸リハビリテーションの評価	143名
	12月6日	慢性期呼吸リハビリテーションの実際	106名
2013	5月29日	呼吸リハビリテーションに役立つ心電図講習会	74名
	7月18日	呼吸器基礎その①COPD	122名
	8月22日	呼吸器基礎その②間質性肺炎	90名
	9月26日	呼吸ケア・リハビリに関わる解剖学、生理学と呼吸機能・動脈血ガス検査	62名
	10月17日	呼吸ケア・リハビリに関わる解剖学、生理学と呼吸機能・動脈血ガス検査	86名
	11月21日	慢性期呼吸リハビリテーションの評価	42名
	12月12日	慢性期呼吸リハビリテーションの実際	22名
	2月20日	酸素療法（HOT）と非侵襲的人工呼吸器（NIPPV）について	45名
2014	9月29日	呼吸ケア・リハビリに関わる解剖学、生理学と呼吸機能・動脈血ガス検査	70名
	10月22日	慢性期呼吸リハビリテーション	72名
2015	5月14日	呼吸リハビリテーションに役立つ心電図入門	90名
	10月5日	呼吸リハビリテーションに必要な解剖、生理、血液ガス、呼吸機能検査の解釈	72名
	10月28日	呼吸リハビリテーションに必要な評価	73名
	11月25日	慢性呼吸不全患者に対するリハビリ	55名
	1月28日	急性呼吸不全患者に対する呼吸リハビリ	64名
2016	9月29日	呼吸ケア・リハビリに関わる解剖学、生理学と呼吸機能・動脈血ガス検査	64名
	10月19日	COPD患者を中心とした慢性呼吸不全患者のリハビリテーションについて	69名
	11月24日	ICUでの理学療法を中心とした慢性呼吸不全患者のリハビリテーションについて	57名
	2月8日	酸素療法（HOT）と非侵襲的人工呼吸器（NIPPV）について	54名
2017	10月5日	解剖生理・検査データの解釈	81名
	11月2日	慢性呼吸不全患者に対するリハビリテーション	75名
	12月7日	急性呼吸不全患者に対するリハビリテーション	42名
	2月14日	酸素療法（HOT）と非侵襲的人工呼吸器（NIPPV）	44名
2018	10月25日	解剖生理・検査データの解釈	74名
	11月22日	慢性呼吸不全患者に対するリハビリテーション	71名
	12月12日	急性呼吸不全患者に対するリハビリテーション	42名
	1月23日	酸素療法（HOT）と非侵襲的人工呼吸器（NIPPV）	23名
2019	9月25日	解剖生理・検査データの解釈	95名
	10月23日	慢性呼吸不全患者に対するリハビリテーション	78名
	11月27日	急性呼吸不全患者に対するリハビリテーション	46名
	1月22日	酸素療法（HOT）と非侵襲的人工呼吸器（NIPPV）	15名

別添資料4 実習施設での教育内容・指導者担当者

分野	実習施設名	教育・実習内容	実習指導担当者 (〇は主な実習補助者)	心理系取得資格	主な実務経験等 (2019年2月時点)
保健医療	宇治おうばく病院	<p>【臨床心理基礎実習】</p> <p>施設の特徴・現状等について指導者からの説明、施設内見学を通じて、保健医療分野における臨床現場のあり様を体験的に学ぶ。また、見学に際してはデイケア参加者との交流も行い、より実践的・体験的な学びを得る。見学実習後は学生同士が体験の言語化・共有化を行い経験の定着を図る。</p> <p>【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】</p> <p>院内のデイケアを中心に、精神疾患や認知症を抱えている患者への心理的支援について実践的に学ぶ。生活支援を中心に、集団を対象としたグループサポートの実際について学ぶ。また、グループサポートプログラムに参加する過程で、他職種(医師、看護師、理学療法士、作業療法士等)との連携についても実践的に学ぶことができる。</p>	名倉 祥文	臨床心理士 (第10428号) 公認心理師 (第10079号)	・医療法人栄仁会宇治おうばく病院 16年8か月
司法・犯罪	京都医療少年院	<p>【臨床心理基礎実習】</p> <p>施設の特徴・現状等について指導者からの説明、施設内見学を通じて、司法・犯罪分野における臨床現場のあり様を体験的に学ぶ。見学実習後は学生同士が体験の言語化・共有化を行い経験の定着を図る。</p> <p>【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】</p> <p>本施設では、24時間体制での医療や看護など充実した医療体制で疾病などの治療を行うとともに、非行に関わる態度や行動上の問題の改善を図り、心身ともに健康な若者を育成するための矯正教育が実施されている。実習生は、施設の特性や対象者の特性を学ぶとともに、多職種連携による心理学的支援の中軸となる事例検討会に参加し、医療的支援を必要とする非行少年らに対する心理学的理解を深め、実践的な治療計画立案を行うまでの実習を行う。</p>	杉谷 遼子	公認心理師 (第3635号)	・交野女子学院 法務教官・専門官 11年2か月 ・京都医療少年院 法務教官・専門官 2年0か月
			(國貞 隆信)	-	・京都刑務所 保健課長・医務部長 14年3か月 ・京都医療少年院 院長 6年0か月
教育	奈良教育大学附属小学校	<p>【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】</p> <p>1年生から6年生までのクラスに入り、子どもと直接かかわることにより、子どもの発達段階について実践的に学ぶ。そして通級指導教室において、通級指導を受ける子どもとかわり、通常学級に在籍している配慮や支援が必要な子どもへの教育及び心理的支援について学ぶ。また特別支援学級において子どもと直接かかわることにより、特別支援教育及び心理的支援について学ぶ。またスクールカウンセラーより学校現場における相談業務についてのレクチャーを受けることにより、教育領域における公認心理師の役割について学ぶ。</p>	大谷 多加志	臨床心理士 (第13452号) 公認心理師 (第1293号)	・京都国際社会福祉センターのぞみ親子相談室 15年0か月 ・橋本こどもクリニック 0年4か月 ・奈良教育大学特別支援教育研究センター 0年4か月
			(井上 龍一)	-	・奈良教育大学附属小学校 教諭・主幹教諭 34年11か月
			(大谷 陽子)	-	・奈良教育大学附属小学校 教諭 27年11か月
教育	奈良教育大学附属中学校	<p>【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】</p> <p>中学校の保健室において心身の不調を訴える生徒に直接かかわることにより、思春期の子ども達の心性を知り、学校現場における心理的支援について学ぶ。保健室に隣接する別室登校の部屋において生徒と直接かかわることにより、配慮が必要な生徒への心理的支援について学ぶ。またスクールカウンセラーより学校現場における相談業務についてのレクチャーを受けることにより、教育領域における公認心理師の役割について学ぶ。</p>	堀田 千絵	公認心理師 (第3571号)	・特定非営利活動法人神経発達症研究推進機構 9年4か月 ・堺晩福祉会幼保連携型認定こども園かなおか保育園 10年0か月 ・堺晩福祉会幼保連携型認定こども園東三国ヶ丘保育園 7年4か月 ・堺晩福祉会幼保連携型認定こども園あかつき保育園 7年4か月
			(成田 菜津美)	-	・生駒市立緑ヶ丘中学校 養護担当講師 2年0か月 ・生駒市立鹿ノ台中学校 養護担当講師 2年0か月 ・生駒市立生駒中学校 養護担当講師 1年7か月 ・奈良教育大学附属中学校 養護教諭 5年11か月

分野	実習施設名	教育・実習内容	実習指導担当者 (〇は主な実習補助者)	心理系取得資格	主な実務経験等(2019年2月時点)
教育	比叡山高等学校	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 高等学校の保健室を中心に、心身の不調を訴える生徒や校内の様々な箇所です活動する生徒たちに直接かかわる。このことにより青年期初期の心性や課題を実感しつつ学ぶ。さらに、保健室隣接の相談室において、スクールカウンセラーによる心理面接に陪席したり、直接的に生徒へかかわったりもする。実習日ごとに、都度の実習生が体験することの振り返りと指導をスクールカウンセラーから受け、教育領域における心理的支援の実際を学ぶ。	山下容子	臨床心理士(第18746号) 公認心理師(第11592号)	・京都府教育委員会 11年9か月 ・延暦寺学園比叡山中学校・高等学校 10年9か月 ・大阪市中央児童相談所 2年0か月 ・岡岡市勤労青少年ホーム 17年9か月
教育	ヴォーリズ学園 こころセンター	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 近江兄弟社高等学校に設置している相談室を中心に、心身の不調や学校内外の対人関係に関する問題、学習に関する問題(発達の問題を含む)、不登校などを抱えている生徒にかかわることで、学校場面における思春期臨床の実際を学ぶ。また、同施設の過去の事例をもとにケースカンファレンスを行い、実習期間中に直接経験できない思春期の子どもの心理的問題に対する理解や支援の在り方などを学ぶ。	武藤 百合	臨床心理士(第07420号) 公認心理師(第8200号)	・財団法人高雄病院 心理療法室 12年0か月 ・ヴォーリズ学園こころセンター こころセンター長 19年9か月
教育	宇治市不登校児童 生徒自立支援教室 「Ujiふれあい教室」	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 不登校の小中学生が、学校の代替として通ってくる教室において、その子どもたちに直接かかわりを持つ。遊びやスポーツ、創作活動や料理などを通じて、それぞれの子どもにどのような心理的支援が必要かを考える機会を提供する。発達の問題や思春期の課題について学ぶ機会となるとともに、教育領域における心理職の役割について学ぶ。	兼松 悠大	臨床心理士(第36705号) 公認心理師(第26906号)	・宇治市原町立宇治原小学校 2年0か月 ・宇治市立小倉小学校 4年0か月
教育	京都府立 清明高等学校	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 様々な志望動機や学習経験を持つ生徒に、社会的自立を図るための確かな学力と社会生活実践力を身に付けさせ、豊かな人間性を育む教育を推進する単位制の高等学校において、実習生は、教師や養護教諭、スクールカウンセラーとともに多職種連携に基づき運営される事例検討会に参加し、生徒の心の理解を深め、その心理学的理解に基づく教育計画立案を行う。さらに、日常的に行われている心理教育授業に参加や観察を行い、青年期の心の発達を育成する心理教育的臨床実践についての実際を学ぶ。	西村 宣幸	公認心理師(第27530号)	・東稜高等学校 保健部 4年0か月 ・清明高等学校 教育相談部 4年4か月
			(塩見 匠)	-	・京都府立丹波支援学校 発達診断担当 2年0か月 ・京都府立丹波支援学校 地域支援コーディネーター 3年0か月 ・京都府立清明高等学校 教育相談部 1年3か月
福祉	児童心理治療施設 ひびき	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 放課後から夜にかけて、施設内で生活している小中学生の集団内に入り、遊びや夕食の時間を共に過ごしながから、子どもたちと直接かかわりを持つ。対象となる子どものほとんどが被虐待児であり、発達や愛着の問題を抱えている。実習生と関わる機会の多かった子どもに関しては、実習指導者からその子どもの持つ背景や、心理的課題についての情報を聞き、実習生自身の関わりの意味について定期的に振り返り、支援者としての基本的な態度を体験から学ぶことができる。また、多職種連携カンファレンスに出席し、福祉領域における心理職の役割についても学ぶ。	高山 嘉史	臨床心理士(第10589号) 公認心理師(第28915号)	・社会福祉法人大阪水上隣保館児童養護施設逢学園 3年2か月 ・社会福祉法人大阪水上隣保館児童心理治療施設ひびき 6年0か月

分野	実習施設名	教育・実習内容	実習指導担当者 (〇は主な実習補助者)	心理系取得資格	主な実務経験等(2019年2月時点)
産業・労働	高槻病院	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 大規模病院の職員のメンタルヘルスマネジメントにおいて、産業医と公認心理師の指導のもとで学ぶ。公認心理師の担当するメンタルヘルス研修への出席、研修医の体験カウンセリングへの出席、実際の相談事例を基にした模擬事例の解説などを通じ、職場における心理的支援について、学ぶことができる。	宮川 貴美子	臨床心理士(第14777号) 公認心理師(第13757号)	・社会医療法人愛仁会高槻病院・千船病院 12年9か月 ・帝塚山学院大学大学院心理教育相談センター 3年0か月 ・関西国際大学大学院心理臨床センター 4年5か月 ・大阪府教育庁スクールカウンセラー 10年9か月
保健医療		【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 477床の急性期総合病院の心理室において、室長と副主任の指導のもとで学ぶ。精神科をはじめ、各診療科を一定期間ごとに回り、それぞれの科における心理的支援のあり方や、他職種連携・心理職の役割について学ぶ。面接への出席や、カンファレンスへの出席などを通じて、実践的な学びを得るものとする。	鈴木 佳子	臨床心理士(第13802号) 公認心理師(第13694号)	・社会医療法人愛仁会高槻病院 15年8か月 ・医療法人社団悠生会雄岡病院 3年0か月 ・兵庫県スクールカウンセラー 2年0か月
			小寺 智子	臨床心理士(第11447号) 公認心理師(第13914号)	・社会医療法人愛仁会高槻病院 23年9か月
保健医療	醍醐病院	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 医師・看護師・公認心理師・作業療法士・管理栄養士・精神保健福祉士などが連携して入院及び外来通院の患者さんの回復をサポートする多職種連携の現場で、患者さんと直接かかわる実践的教育が提供される。また、病棟では実習生が担当する患者さんと定期的に継続的に関わることができる。デイ・ケア、ストレスマネジメントメタ認知トレーニングなどに参加しながらグループ療法を学ぶ。医師の診療への出席、心理検査の出席及び実施も行う。	太田 有二	臨床心理士(第19614号) 公認心理師(第10063号)	・大阪府こころの健康総合センター 4年3か月 ・医療法人利田会久米田病院 2年1か月 ・医療法人桜花会醍醐病院 2年7か月
			児嶋 優子	臨床心理士(第17742号) 公認心理師(第18972号)	・医療法人桜花会醍醐病院 11年8か月
			小東 功英	臨床心理士(第17802号) 公認心理師(第25912号)	・医療法人桜花会醍醐病院 11年9か月
			佐藤 佳子	臨床心理士(第3714号) 公認心理師(第8196号)	・医療法人桜花会醍醐病院 31年9か月
			田中 悦子	臨床心理士(第20882号) 公認心理師(第19193号)	・医療法人桜花会醍醐病院 9年8か月
保健医療	琵琶湖病院	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 精神科急性期治療病棟、精神科療養病棟(閉鎖病棟・解放病棟)認知症病棟などにおいて患者さんと直接かかわる教育が受けられる。外来診療への出席、デイ・ケアでの体験、患者家族会や集団精神療法の場への参加もでき、幅広く精神科医療について学ぶことができる。	上本 剛	臨床心理士(第13950号) 公認心理師(第13960号)	・医療法人明和会琵琶湖病院 21年8か月
			椿野 洋美	臨床心理士(第19206号) 公認心理師(第22864号)	・医療法人明和会琵琶湖病院 11年9か月

分野	実習施設名	教育・実習内容	実習指導担当者 (〇は主な実習補助者)	心理系取得資格	主な実務経験等(2019年2月時点)
保健医療	洛和会音羽病院	【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 精神科領域全般を対象とした小児から高齢者までの精神科外来での診療の場への陪席および認知症疾患で入院中の方への直接的関与を通して総合病院における精神科診療について学ぶ。特に認知症疾患の診断補助となる各種心理・神経心理検査について詳細に学ぶ。また、こころと発達子ども相談外来では小児科医・児童精神科医・看護師・公認心理師が協力して診断や診療を行っているが、その現場に陪席し学ぶことができる。	中島 陽大	臨床心理士(第23130号) 公認心理師(第30367号)	・労働者健康福祉機構中部労災病院心療内科 1年0か月 ・浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科 2年0か月 ・磐田市立総合病院精神科 1年0か月 ・医療法人社団曙会佐鳴湖病院 1年0か月 ・城北公園クリニック 1年0か月 ・浜松市適応指導教室 1年0か月 ・洛和会音羽病院(洛和会京都厚生学校非常勤講師兼任) 2年7か月
			濱口 愛	臨床心理士(第17156号) 公認心理師(第15167号)	・洛和会音羽病院 12年8か月
			林 たみ子	臨床心理士(第3712号) 公認心理師(第7056号)	・国立肥前療養所 4年11か月 ・杏仁会神野病院 3年3か月 ・早良病院 1年9か月 ・情緒障害児短期治療施設 さざなみ学園 3年0か月 ・洛和会音羽病院 18年0か月
-	京都橋大学 心理臨床センター	【臨床心理基礎実習】 来談者へのインテーク面接への陪席、施設内におけるインテークカンファレンス、ケースカンファレンスへの参加を行う。これらを通じて実際の事例に接することで心理臨床現場における必要な知見等の修得を行う。	中西 龍一	臨床心理士(第2209号)	・京都市教育委員会カウンセリング室 2年4か月 ・京都YMCA相談室 3年10か月 ・永松記念教育センター 7年5か月
			松下 幸治	臨床心理士(第07554号) 公認心理師(第26368号)	・大阪府環境保健部健康増進課精神保健室 2年6か月 ・北斗甲斐さわか病院 2年0か月 ・関西カウンセリングセンター 6年0か月
		【心理実践実習Ⅰ/臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ)】 より実際の臨床心理活動や心理学的支援の実践として、実際に来談者への支援を行う。その支援課程では、指導担当者より事例に即し個別の指導や、ケースカンファレンスでの報告を通じた複数の関連からの指摘・指導等を得ることで、適切な支援方法について実践的に修得する。	大久保 千恵	臨床心理士(第3514号) 公認心理師(第23259号)	・医療法人桜花会醍醐病院 9年9か月 ・医療法人社団杉本医院 10年3か月 ・日本ヒューレット・パッカード社関西・中部地区 5年9か月 ・ますい心療内科女性と子どものこころのクリニック 10年9か月 ・奈良県吉野郡下北山村発達・子育て相談員 10年4か月
			岸 太一	臨床心理士(第07561号) 公認心理師(第29746号)	・埼玉県八潮市教育相談所 5年6か月 ・フラワーヒルクリニック 1年7か月 ・くどうちあき脳神経外科クリニック 6年4か月 ・東京西徳洲会病院 5年11か月
			ジェイムス 朋子	臨床心理士(第09041号) 公認心理師(第25524号)	・有限会社バス心理教育研究所 4年11か月 ・むさしのメンタルクリニック 4年3か月
			田中 芳幸	臨床心理士(第47401号) 公認心理師(第4437号)	・福岡県立高田町立高田中学校 5年6か月 ・大川市立木室小学校 1年2か月 ・久留米市立東国分小学校 2年11か月 ・東京福祉大学付属臨床心理相談室 4年4か月 ・福岡県臨床心理士会緊急支援チーム 3年6か月
			濱田 智崇	臨床心理士(第11058号) 公認心理師(第17828号)	・医療社団法人岩沢神経科クリニック 19年4か月 ・社会福祉法人大阪水上隣保館児童養護施設暁学園 18年4か月 ・寝屋川市男女共同参画センター男性相談 15年4か月

ハラスメント防止のために

京都橘大学は、すべての学生・教職員および関係者が個人として尊重され、就学・就労できる快適な環境を提供し、維持することが何よりも重要であると考えています。

ハラスメントは、人間としての尊厳を侵害する行為であり、人権の侵害となるものです。このような行為は、大学における学生や教員の自由な学習・教育・研究を享受する権利を著しく侵害するものです。職員にとっては働く権利を侵害するものです。

「自立」「共生」「臨床の知」という本学の教学理念に反することは言うまでもありません。

京都橘大学は、このような人権を侵害する行為であるハラスメントを決して容認することはできません。

? ハラスメントとは、どのようなことですか？

ハラスメント(Harassment)とは、相手の意に反する言動を指します。本人が意図するかどうかに関わらず、相手を不快にし、差別し、脅威や屈辱感あるいは不利益を与えることです。大学におけるハラスメントには、性的な言動によるセクシャル・ハラスメント(セクハラ)、学習・教育・研究に関する言動によるアカデミック・ハラスメント(アカハラ)、優越的な地位や職務上の地位に基づく言動によるパワー・ハラスメント(パワハラ)などがあります。

? どのような言動がハラスメントになるのですか？

個人によって、あるいは男女の性別や立場などによって、相手の言動の受け止め方には違いがあります。「これくらいならいいだろう」「相手も分かるはずだ」という、身勝手な臆測や思い込みには注意が必要です。「ちょっとした冗談だよ」「親しみを込めた表現だよ」というつもりであっても、その言動が意図的であったかどうかに関わらず、受け手が不快に感じたり、そのことによって良好な環境のもと学習・教育・研究・就労を行う権利が侵害されたのであれば、それはハラスメントであるということなのです。

人権侵害の定義

人権侵害とは、日本国憲法14条に「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的または社会的関係において、差別されない。」と規定されているように、法の下での平等の侵害、思想・信条・良心の自由および言論の自由に関する差別的取扱い、プライバシーの侵害、相手の意に反する性的言動や身体的接触、その他基本的人権を侵害するような取扱いにより相手の尊厳を傷つける行為をいいます。

ハラスメント相談窓口

学内の相談窓口

ハラスメントや人権侵害について、相談窓口の相談員に相談したことをもって不利益な扱いを受けることはありません。もし、相手方から何らかの報復行為があった場合には、本学として断固とした措置をとります。

学生相談室

(響友館3階)

電話：075-574-4239

Eメールアドレス：cou@tachibana-u.ac.jp

医務室

(管理・特別教室棟1階)

電話：075-574-4119

Eメールアドレス：med@tachibana-u.ac.jp

教職員の相談員(半数以上は女性です)

ハラスメント防止に関するホームページで人権相談員を紹介しています。
京都橘大学HP→在学生の方へ→各種相談窓口/人権侵害防止に関する取り組み(人権相談員リストをクリックしてください)



http://www.tachibana-u.ac.jp/about/efforts/human_right.html

学外の相談窓口

京都地方法務局 人権擁護課

電話：075-231-0131(代)

日時：8:30～17:15(月～金)

京都市上京区荒神口通河原町東入ル上生洲町197

京都橘大学 人権委員会

(事務局：京都橘大学 総務課)

607-8175 京都市山科区大宅山田町34

TEL 075-574-4111 FAX 075-574-4122

!

STOP!

ハラスメント

ハラスメント防止のために



育ちあう、響きあう

京都橘大学

ハラスメント
って
なあに？

これらの言動がハラスメントです

セクシャル ハラスメント

- コンパなどでみだりに身体に触れる
- 食事やデートにしつこく誘う
- わいせつな冗談を言う
- 性的な対象としてじっと見つめる
- 女性だからという理由でお茶だしを頼む
- 男性だからという理由でリーダー役を強要する
- 容姿や容貌を話題にして相手を不快にする

パワー ハラスメント

- 職務上必要な情報を意図的に伝えない
- 過重な仕事を強要する
- ミスの注意だけでなく、人格まで否定する
- 人前で部下を激しく非難する
- 業務終了後、強引に飲み会に誘う

アカデミック ハラスメント

- 研究や実験の遂行を妨害する
- 特定他者の研究成果やアイデアを無断で使用する
- 本人の意思を無視して研究テーマを押しつける
- 正当な理由もなく、指導を行わない
- 単位認定や学位授与に対し不公平な態度をとる
- 他の学生の前で特定の学生を激しく叱責する

もし
被害にあって
しまったら…

ハラスメントと感じたら迷わずに相談を

本学では、「人権侵害防止に関するガイドライン」を定め、人権相談のための窓口を設けています。

ハラスメントは多くの場合、「NO」と言えない状況で起こります。不快な気持ちを相手に言えなかったとしても、決してあなたが悪いわけではないのです。

ひとりで悩まず、まずは相談窓口の相談員に話してみてください。

相談員は、あなたの立場に立って相談に応じます。

プライバシーは守ります

相談者のお名前はもちろんのこと、相談内容が相談員以外に漏れることはありません。プライバシーは必ず守られます。相談員は守秘義務を遵守します。あな

な名前を伏せたままであっても相談できます。信頼できる友人に付き添ってもらうこともできます。

相談は、面談・電話・手紙・Eメールなど、どのような方法でも可能です。

あなたの心のなかの思いをすべて相談員に聞かせてください。これからどのようにするのが良いのか、一緒に考えていきましょう。

たの理解がない限り、お名前や所属する学部・学科、部署はもとより、相談内容も含め他者に話すことは絶対にありません。

ハラスメント Q & A

Q ハラスメントにあった時は、どうすればいいのでしょうか？

A まず、「イヤ」という気持ちを相手に伝えてください。ひとりで悩まず、相談員に相談してください。相談の前に、何時(いつ)、何処(どこ)で、誰が、どのようなことをしたのか、あなたや周囲の人はどう対応したのかなど、簡単なメモを作成しておきましょう。メールやネットの書き込みなども、事実を示す重要なものとなります。

Q 相談したら相手や大学側に知られてしまわないかと不安です。

A あなたの了解なしに他者に伝えることは絶対にありません。相談員が勝手に動くこともありません。プライバシーは必ず守られます。また、相談したことによって不利益を受けることは決してありません。

Q 相談員に連絡をとりたいのですが、どうすればいいのでしょうか？

A 学生相談室まで来ていただいて相談することもできますし、メールや手紙、電話でも相談できます。このリーフレットの裏面を参照してください。

Q 相談したら相談員の意見が押しつけられるのではないかと心配です。

A 相談員はあなたの気持ちを第一に考え、あなたがどうして欲しいのか、どうすれば良いのかなど状況に適した対応策と一緒に考えていきます。

Q 友人からハラスメントの相談を受けました。どのように接したら良いのでしょうか？

A 親身になって話を聞き、相談員に相談するようすすめてください。「あなたの方にも問題があったのでは？」などと、友人を責めないでください。あなたが友人と一緒に学生相談室を訪れることも可能です。こんな時こそ支えてあげましょう。

Q ハラスメントの事実関係の確認に協力すると、協力した者に不利益が生じないかと心配です。

A 事実関係の確認が非常に重要となる場合があります。当事者だけでなく、周辺の方にもお話を伺う場合がありますので、ご協力をお願いします。協力したことによって不利益を受けることは絶対にありません。